

平成26年度旭川市病院事業会計決算の概要

平成26年度は、地方公営企業会計制度等の改正があり、決算・財務諸表ともに大きく変動しております。新しい会計制度は民間企業の会計基準の考え方を最大限取り入れながらも、地方公営企業の特性を適切に勘案した制度となっています。大きな影響が出たものは、まず①企業債である借入資本金を負債へ振替、②補助金等により取得した固定資産の処理方法の変更、③リース会計の導入です。これらの項目は病院事業の資産や負債及び資本に影響を及ぼし、資本の部から負債の部へ振り替えられた総額は169億900万円です。

次に④退職給付等の引当金の計上は損益に影響を及ぼし、合計で32億8600万円の損失となっております。このことにより、平成26年決算においては、およそ35億7800万円の純損失が生じました。

1 平成26年度決算の内容

(1) 患者数

(単位：人)

区 分		予 算 a	決 算 b	増 減 b-a
入 院	延べ患者数	146,730	130,236	△ 16,494
	1日平均患者数	402.0	356.8	△ 45.2
外 来	延べ患者数	242,795	240,204	△ 2,591
	1日平均患者数	991.0	980.4	△ 10.6

(2) 収益的収入・支出（税込）

(単位：千円)

項 目	予 算 a	決 算 b	執行率 b/a(%)	備 考
病院事業収益	12,669,645	11,814,869	93.3	
医業収益	11,159,675	10,221,422	91.6	
入院	7,695,974	6,876,140	89.3	本院のほか、江丹別診療所を含む
外来	3,265,654	3,156,303	96.7	
その他	198,047	188,979	95.4	
医業外収益	1,308,843	1,428,843	109.2	一般会計負担金を含む
特別利益	201,127	164,604	81.8	
病院事業費用	15,945,240	15,391,092	96.5	
医業費用	12,113,677	11,683,088	96.4	江丹別診療所費用を含む
医業外費用	427,946	421,216	98.4	
特別損失	3,399,617	3,286,788	96.7	
予備費	4,000	0	0.0	

(3) 資本的収入・支出（税込）

（単位：千円）

項目	予 算 a	決 算 b	執行率 b/a (%)	備 考
資本的収入	1,201,914	1,165,158	96.9	
企業債	456,000	416,000	91.2	
補助金等	31,685	40,181	126.8	
一般会計負担金	714,229	708,977	99.3	
資本的支出	1,729,710	1,678,319	97.0	
建設改良費	702,196	651,805	92.8	
企業債償還金	1,026,514	1,026,514	100.0	
予備費	1,000	0	0.0	

2 財務諸表

(1) 損益計算書

1年間の企業活動の経営成績を表します。

（単位：千円）

事業年度 項目	平成25年度 a	平成26年度 b	増 減 b-a
医業収益	10,051,765	10,206,050	154,285
医業外収益	800,442	1,424,293	623,851
特別利益	3,861	164,604	160,743
収益計(7)	10,856,068	11,794,947	938,879
医業費用	10,937,194	11,548,880	611,686
医業外費用	529,165	537,347	8,182
特別損失	5,627	3,286,788	3,281,161
費用計(1)	11,471,986	15,373,015	3,901,029
損益(7)-(1)	△ 615,918	△ 3,578,068	△ 2,962,150

(2) 貸借対照表

年度末における財産の状態を表します。

(単位：千円)

事業年度 項目	平成25年度 a	平成26年度 b	増減 b-a
資産	15,480,750	13,251,284	△ 2,229,466
固定資産	11,677,856	10,279,072	△ 1,398,784
繰延資産	264,045	0	△ 264,045
流動資産	3,538,849	2,972,212	△ 566,637
うち現金預金	1,557,945	944,615	△ 613,330
負債	1,115,087	19,372,312	18,257,225
固定負債	0	15,542,296	15,542,296
流動負債	1,115,087	2,947,700	1,832,613
繰延収益	0	882,316	882,316
資本	14,365,663	-6,121,028	△ 20,486,691
資本金	24,259,142	9,925,406	△ 14,333,736
自己資本金	9,925,406	9,925,406	0
借入資本金	14,333,736	0	△ 14,333,736
剰余金	△ 9,893,479	△ 16,046,434	△ 6,152,955
うち利益剰余金	△ 12,692,583	△ 16,270,651	△ 3,578,068

3 経営状況（主な財務指標）

(1) 損益

損益計算 平成 26 年度純損失 △35 億 7 千 806 万 8 千円

平成 26 年度は地方公営企業会計制度改正により、一括して退職給付引当金の計上等が必要となり前年度より大幅に悪化しました。

(2) 資金収支・資金残高

資金収支計算 平成 26 年度収支 11 億 6 千 422 万 8 千円の収支不足

資金残高 平成 26 年度末残高 12 億 5 千 953 万 3 千円

資金残高は、流動資産と流動負債（企業債を除く）の差で表され、マイナスになると不良債務の発生につながります。資金収支は、前年度と今年度の資金残高の増減で実質的な収支状況を表します。

平成 26 年度は消費税の増税及び地方公営企業会計制度改正により、大幅な収支不足となってしまいました。このことから、資金残高は前年より減少しましたが、病院の運営継続に支障ありません。

(3) 資金不足比率

資金不足比率は、資金不足の状況を表し、次の式で算出されますが、当院においては資金が確保されており、資金不足額が発生していないため算定されません。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} = \frac{-1,296,835 \text{千円}}{10,221,422 \text{千円}} = \text{資金不足なし}$$